

令和2年度 第15回 政策決定会議 会議録②

◆開催日時:令和3年2月15日(月) 16:45~17:00

◆開催場所:市長公室

◆出席委員:永野市長、堤副市長、大下教育長

◆審議事項

・岸和田市公共施設最適化計画に基づく個別施設計画(案)について

……………公共建築マネジメント課⇒承認

◆審議概要

『岸和田市公共施設最適化計画に基づく個別施設計画(案)について』

〈説 明 者〉吉田建設部長、古谷公共建築マネジメント課長、上田担当主幹

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件原案どおり承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり。

【政策調整会議における議論内容】

- ① 各施設の保全費用について、財政計画内でその費用をどう反映させていくか、財務部と十分に調整すること。
- ② 本個別計画案であり方を検討することとなっている施設について、令和7年度の第1期計画期間終了までに決定することとしているが、検討期間を短くし、結果を示してもらうなど確実に進捗するように調整すること。

◎報告後、質疑応答

〈堤 副 市 長〉浪切ホールは売却の検討も含め速やかに対応し、文化会館の指定管理や春木市民センターについても早めに検討していくこと。市の保有する不動産が多いため、この機に見直しを図られたい。また、各施設の保全費用の理論値を算出しているが、この精査も行っていくこと。

〈教 育 長〉チビッコホームについて、余裕教室の活用としているが、今般文部科学省の方針として、小学校35人学級が示されたため、教室が必要となってくる。また、支援を要する子どもたちが増加し、支援学級を増設する傾向にある。そのため、学校管理課及び子育て支援課と十分調整しながら進められたい。本計画案について、4月にパブリックコメントを行う予定とあるが、令和7年度までに床面積の3%、令和17年度までに30%を削減するという数値目標だけでは、市民の理解を得難い。パブリックコメントの際には、市の財政状況について府内の他市町村との比較も合わせて示し、市の財政状況が厳しいものであるという前提

のもと、必要な取組・計画であることを理解してもらえよう、財務部と調整し進めるように。

〈市長〉再編しても市民サービスが低下せず、コストが削減できるものについては優先順位が高いので、進めてほしい。現在の床面積に対し、各施設が占める割合を示すと理解を得やすいため、それも合わせて示してはどうか。市全体として、床面積を減らす必要性を共有し、心ひとつに取り組むことが必要。個別計画が出そうなので、30%削減に向け、気運を高められるように。

〈総合政策部長〉本案件について、原案どおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を、原案のとおり承認する。

令和3年2月8日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名建設部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市公共施設最適化計画に基づく個別施設計画(案)について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	市民ニーズの変化、厳しい財政状況、施設の老朽化等本市の公共施設を取り巻く状況の変化に対応した方針を定め、持続可能な施設の維持管理及び施設保有量の適正化を目指すべく、最適化計画対象 16 施設群に係る個別施設計画を策定しようとするものである。
説明者	公共建築マネジメント課古谷、上田
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和2年度 第15回会議
付議事項	岸和田市公共施設最適化計画に基づく個別施設計画(案)について

★取組の目的

対象	岸和田市最適化計画対象16施設群(高等学校、図書館、岸和田自然資料館、ホール・会館、チビッコホーム、高齢者関連施設、保健・福祉施設、観光施設、農業関連施設、駐車場、自転車等駐車場、男女共同参画センター、消費生活センター、畜場、市民センター、支所)
どのような状態を目指す	市民ニーズの変化、厳しい財政状況、施設の老朽化等本市の公共施設を取り巻く状況の変化に対応した方針を定め、持続可能な施設の維持管理及び施設保有量の適正化を目指す。

★総合計画上の位置付け

202030201	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(3)事務を効果的・効率的に行うための体制が整っている
	目指す成果	②資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている
	行政の役割	ア 市の財産を適正に管理する

★現状と課題

市民ニーズの変化、厳しい財政状況、施設の老朽化等本市の公共施設を取り巻く状況の変化に対応した方針を定め、持続可能な施設の維持管理及び施設保有量の適正化を図る必要がある。
--

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
産業高等学校第2体育館解体工事							19,006		
市営蛸地蔵駅自転車等駐車場解体工事				5,275	7,911				
財源内訳	国費			0			0		
	府費			0			0		
	起債			3,900	5,900		0		
	一般財源			1,375	2,011		19,006		
	その他			0			0		
事業費		計			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		26,917			7,911	0	19,006	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
無し					

★取組の効果を表す指標

指標名						目標値				
						R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。